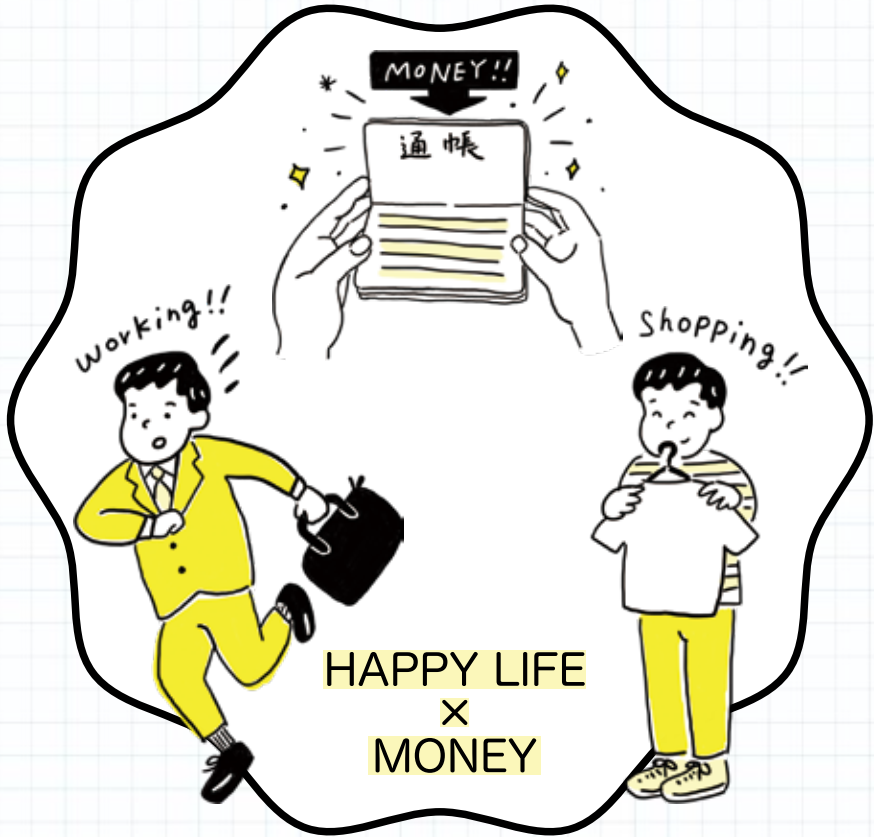


【 第3章 かしこい生活設計 】



皆さんは、自分の人生をどのように生きていこうか、深く考えたことはありますか。人生は、計画通りにいくこともあれば、そうでない場合もあります。どのような時でも、あなたらしさを失わずに生活していくためには、生活の基盤をしっかりと築くことが必要です。この基盤づくりに大切なものの一つに「お金」があります。お金（収入）をどのように得て、何に使うか（消費するか）を真剣に考えることは、あなたの将来を形作る第一歩になります。

この章では、皆さんのこれからの人生を支えるお金についての基本的なルールを理解しながら、健全な家計と生活設計とは何かを学んでいきましょう。

収入と支出のバランスを理解しよう

お金について考える際、自分自身の収入と支出を把握し、自由に使える金額を認識することがスタートラインになります。

まず、生活には、お金が必要です。そのお金を、「家計」の側面からみてみましょう。所得には様々な種類があります。事業を営んでいる場合は「事業所得」、企業に勤めてお給料を得る場合は「給与所得」、土地や建物を貸して得る場合は「不動産所得」などがあります。皆さんがどのように所得を得るかは、その働き方にもよります。ここでは、給与所得者（企業勤め）を中心に考えてみることにしましょう。企業に勤めると、毎月お給料をもらいます。企業によっては年に数回、賞与があるかもしれませんが。

「控除」というのは、税金、健康保険、厚生年金など、制度で決められていて支給時に差し引かれているものですので、この部分は私たちの毎月の消費生活には利用できない金額です。私たちが生活に使えるお金は、「差引支給額」と書かれている金額です。

【給与明細の例】

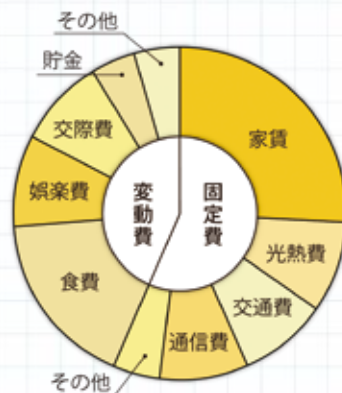
※数字は見本です

勤怠	出勤日数	欠勤日数	残業日数	有給休暇	有給残日数	
	20	0	0	1	12	
支給	基本給	時間外手当	通勤手当	家族手当	資格手当	
	250,000	20,000	15,000	0	0	
	計	285,000				
控除	健康保険	介護保険	厚生年金	雇用保険	所得税	住民税
	14,000	0	24,400	1,500	6,500	13,000
	計	59,400				
差引支給額		225,600				

健全な家計を維持するためには、差引支給額から、固定費（家賃、光熱費、交通費、通信費…など）を除き、残ったお金をどのようにやりくりし、いくら貯金するかを考えます。

収入と支出のバランスを把握するためには、家計簿をつけると良いでしょう。季節によって支出の傾向が見えてきますし、節約できるところが明確になります。今は、家計簿アプリなどもありますので、便利ですよね。

【支出の割合の例】



働くことの意味を理解しよう

さて、前述したとおり、私たちは働き、得たお金で生活の支出をまかないます。では、働くということはいったいどういうことなのでしょう？趣味と仕事の違いは何でしょうか？

一言でいうと、**自分自身のためにするのが趣味であり、誰かのためにするのが仕事**です。誰かのために商品を生産したり、サービスを提供したりするから、それを手に入れた人はその対価としてお金を払うのです。そして、多くの人が働き、賃金として得たお金で、誰かが生産した商品やサービスを買って生活をしています。

例えば、Aさんの趣味は植物を育てること。綺麗なお花を家にたくさん飾っています。ある日、Aさんは自分が育てたお花を、より多くの人に手にとってもらいたいと思い、ネットで販売することにしました。趣味が仕事に変わった瞬間ですね。

雇用って何？

皆さんの多くはアルバイトをしたり、学校卒業後会社に勤めたりすることになるのではないのでしょうか。これは勤め先である組織と雇用契約を結ぶことを意味しています。雇用契約とは「当事者の一方（労働者）が相手方（使用者）に対して労働に従事することを約束し、使用者がその労働に対して報酬を与える契約」のことです。つまり雇用契約を結んで働くということは、労働力と報酬（賃金）との交換でもあります。

COLUMN ▶ ブラックバイトには要注意！

新しくアルバイトをしようと求人情報を探していたら、時給が高い、勤務シフトが極めて柔軟など、他と比べて非常に好待遇な求人を見つけた、なんてことはありませんか？

しかし、そのアルバイト、ひょっとするとブラックバイトかもしれないので、要注意です。

ブラックバイトとは、労働条件などをあまり詳しく知らない学生や若者を狙い、違法性の高い、過酷な労働環境での勤務を強いられるアルバイトのことを言います。

例：長時間労働 / 無理なシフトの強制 / サービス残業の強制 / 罰金・買取・弁償の要求 など

- 「おかしいな」と思った求人には応募しない！
- もしそのようなアルバイトを始めてしまった場合は、相談窓口相談！

自分が暮らす地域の相談窓口を確認しましょう！

総合労働相談コーナー 厚生労働省



クレジットのしくみを理解しよう

クレジットカードの利用は計画的に！

クレジットカードは、その場に現金がなくても商品などを購入できるなど様々なメリットがあるので、すでに使っている人やこれから使おうと思っている人も多いかもしれません。ただ、**クレジットカードの利用や各種ローン・キャッシングはどれも「借金」です。**クレジットカードのしくみをよく理解し、無理のない範囲で利用できるようになりましょう。

クレジットカードのしくみ

クレジットカードは、ショッピングなどの代金を信販会社に立て替えてもらう契約です。つまり、信販会社にお金を借りて代金を支払う契約ともいえます。

クレジットカードを安全に利用するうえで心がけるべきこと

- 自分の収入にあった利用を心がける
- 必要以上に複数のカードを所有・利用しない
- 請求書の利用金額は必ずチェックする
- 確実に返済する
- クレジットカードを人に貸さない
- クレジット返済のための借金は絶対にしない

支払い方法と金利 クレジットカードの支払方法により、金利がつく場合があります。

支払い方法	内容	金利
翌月一括払い	利用した金額を翌月に一括で支払う	なし
分割払い	支払回数を決めて分割して支払う	あり
リボルビング払い（リボ払い）	利用金額に関わらず、毎月一定額を支払う	あり

分割払いとは返済回数を決めて支払う方法のこと。例えば10万円の商品分割10回払いで購入する場合には、毎月1万円＋金利の支払いをすることになります。返済が完了する前にさらに10万円の商品分割10回払いで購入すれば、月2万円＋双方の金利を払うことになります。こういう状況では毎月の支払う金額が大きく、再度の購入を諦める人は多いでしょう。

リボ払いとは、カードを作ったときに毎月の支払い金額を決めてしまう支払方法のことです。はじめに毎月支払う金額を決めて、買い物が増えたり減ったりしても毎月その金額を払えばよい方法です。これは便利と思いませんか？

しかし、ここに大きな落とし穴があります。購入金額が増えても毎月の支払う額が一定ということは支払う期間がその分伸びるということなどです。その伸びた分、金利の支払いが増えます。**知らない間に借金をし続ける危険性があるのがリボ払いなのです。**

借金のための借金は厳禁！「多重債務」に気を付けよう

金融機関などから借金を繰り返すなどして、雪だるま式に借金が増え、返済が困難になる「多重債務」。手元の現金が不足しているからといって安易にローンやキャッシングを利用するのではなく、「本当に、今すぐ借入れが必要なお金か」を冷静に判断するとともに、「借り入れた場合に返済できるか」を慎重に検討しましょう。

- 一時的に収入が減ったので、生活費を補填するために借金をした
- ポイントをためる目的で現金ではなくクレジットカードで支払うようにしていたら、いつの間にか支払い額が大きくなっていった など

返済が困難になった場合は、早めに相談を！

一人で悩んでいる間にも借金は増えていくもの。決して一人で抱え込まずに、返済が困難になった場合は、早めに相談窓口にご相談しましょう！

→ 右のQRコードから、県内の多重債務相談窓口一覧を確認できます。



高知県庁 HP

COLUMN ▶ 奨学金が将来の生活の重い負担になることも？

日本学生支援機構の奨学金には給付型と貸与型があり、貸与型には利息がつかないもの（第1種奨学金）と利息がつくもの（第2種奨学金）があります。卒業後、返済することになるので、借りる前に返還期間と返還額を確認してから借入額を検討しましょう。

奨学金返還は延滞すると延滞金が課せられます。何らかの理由で返還が難しくなったら、日本学生支援機構へ早急に相談しましょう。

COLUMN ▶ 一見お得？でも、携帯電話の端末代金の分割払いに要注意！

スマートフォンの購入代金は高額です。「実質負担0円」の契約を締結した場合、端末代金の分割払い相当額が月額利用料金から割引されている場合が多く、購入者には端末代金を支払っている自覚がないこともあります。

端末代金の分割払いはローンに当たるため、月々の支払いが滞ると、将来クレジットカードが作れなくなったり、ローンが組めなくなったりするかもしれません。端末代金を支払っていることを忘れず、月々の支払いが滞らないように気を付けましょう。

COLUMN ▶ 銀行のカードローンの利用は「計画的」に…

近年、銀行のカードローンを利用したことで、返済ができなくなってしまうトラブルが増加しています。銀行のカードローンの方が、消費者金融やヤミ金融から借りるよりも抵抗感が少ないので、つつい返済能力以上のお金を借りてしまうことも…。中には他の借金返済のためにカードローンを利用してしまいう人もいます。

銀行だからといって、安心するのではなく、慎重に判断しましょう。

様々なライフイベントに備えよう

人生を歩んでいくと就職、結婚、出産・子育て、住宅購入、リタイアなどさまざまな出来事（＝ライフイベント）が控えています。そして、それぞれのライフイベントの中には大きな出費が必要になることも。

これらのライフイベントに備えて、「消費支出」と「貯蓄」のバランスを考えていくことが重要です。



就職活動にかかるお金

約 16 万円

リクルートスーツ代、
交通費、宿泊費など

※株式会社ディスコ
2016 年度日経就職ナビ
学生モニター調査結果より



一人暮らしの生活費

約 11 万円 / 月

最低限かかる毎月の
出費の平均値

※リクルート住まい
カンパニー SUUMO 賃貸
一人暮らし調査より



結婚にかかるお金

約 461 万円

結婚・結納～新婚旅行
までにかかった費用総額

※ゼクシイ
「結婚トレンド調査 2015」
より



出産費用

約 49 万円

出産費用の総額

※厚生労働省
「第 78 回社会保障審議会
医療保険部会配布資料」より



子どもの教育にかかるお金

約 969 万円

子ども 1 人当たりの総額

※文部科学省
「子供の学習調査（平成 26
年度）」より
幼稚園から高校まで公立、
大学は私立の場合



老後の生活費

約 28 万円 / 月

無職の高齢者夫婦の世帯支出

※総務省
「家計調査年報（家計収支編）」
平成 27 年家計の概況より

COLUMN 修学資金や就職準備金貸付など、様々な支援制度を活用しよう

仕事をしながら、より専門性を高めたい、資格を取ってキャリアアップをはかりたい、と思う時期がくるかもしれません。そのような時には、支援制度を活用することもできます。一時的な資金であれば、修学資金や就職を支援する就職準備金などを活用することで、諦めることなく、キャリアアップを実現することができるかもしれません。

自分が進みたい進路や職業が定まった際には、これら資金援助制度が活用できないかどうかについて調べてみましょう。